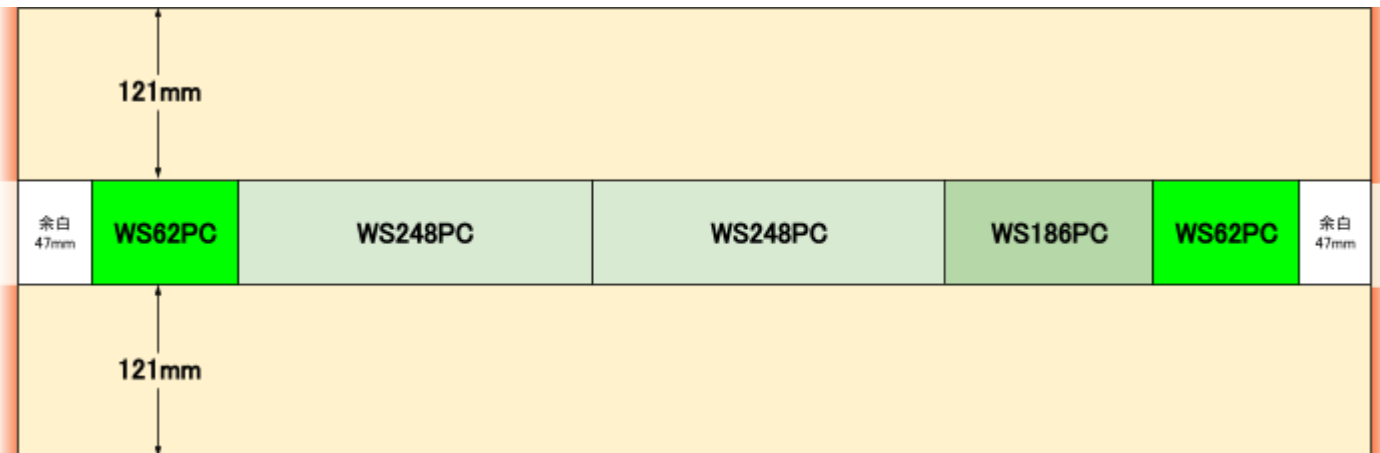


全国高等学校鉄道模型コンテスト

モジュールボード規格【直線】（KATO・ユニットラック線路）

線路配置図



- ボード寸法
W900 × D300 × H100 mm
- 使用レール
WS248PC × 2 本
WS186PC × 1 本
WS62PC × 2 本

線路敷設に関する注意事項

- 複線間隔33mmを遵守すること。
- 両端（接続部分）の許容誤差は1mm以内。
- 複線レールを使用すること。
- 原則、ユニットラック線路を使用すること。
- レールのジョイントは正確に行い、確実に固定すること。
- 敷設後に必ず通電・走行チェックを行うこと。
- 線形の変更は可能だが、両端は指定の位置に指定の線路を使うこと。
- 大型車両が走行可能なクリアランスを確保すること。
- 右記の建築限界ゲージを切り抜いて活用してください。

電飾に関する注意

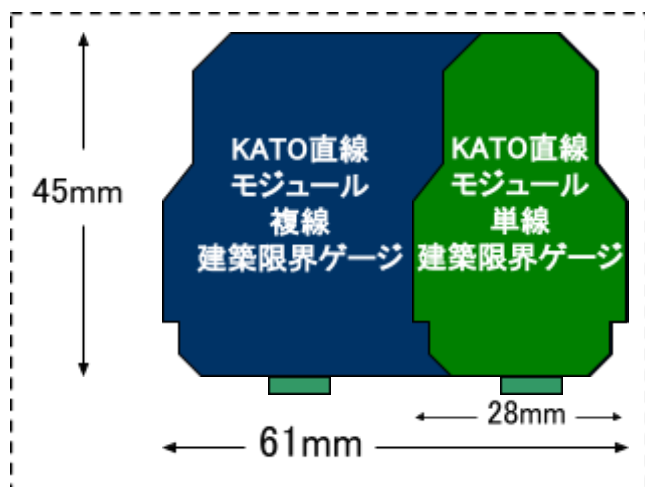
- 裸線、ショートのある配線は失格とする。
- 電気配線は必ずボード内に収めること。
- 線路からの給電はできません。
- 電池を使う場合は電池ボックスをボードの後ろに付けて、電池が誰でも取り出せる状態にすること。
- コンセントからの給電は、コードが収納できてコンセントを差し込むだけの状態にすること。
- 会期中帰る際は、必ず電池、コンセントは外して通電していない状態にすること。
- 配線は穴をあけてボード内に入れ、ボードが踏まない状態にしてください。
- 電気容量を事前に計算して照明などを付けてください。

その他の注意事項

- 作品全体の高さを500mm以下にすること。



全国高等学校鉄道模型コンテスト実行委員会

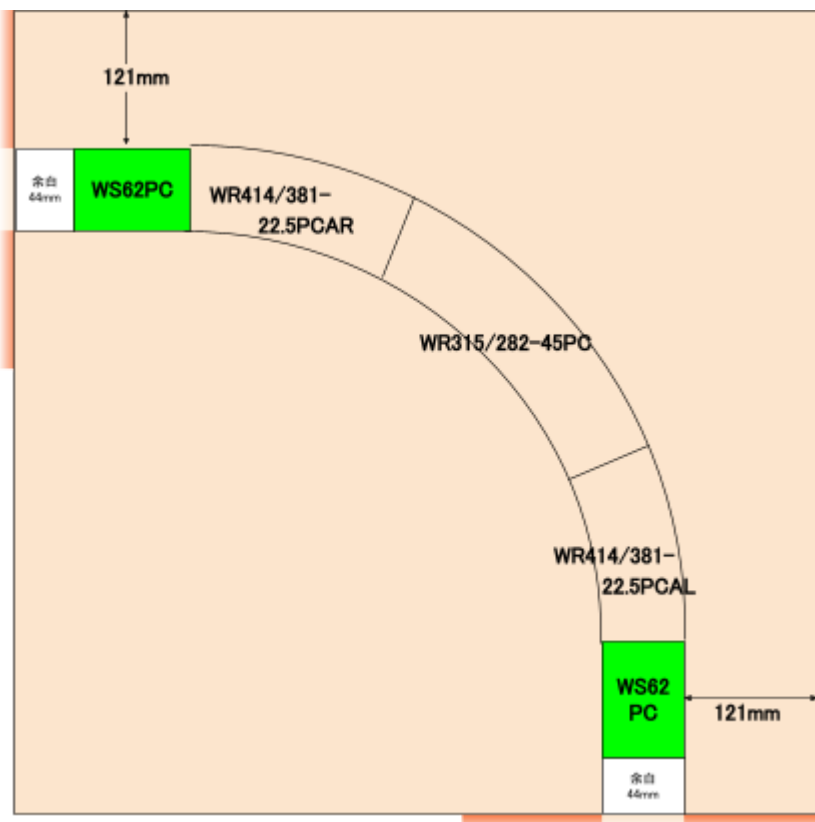


全国高等学校鉄道模型コンテスト

モジュールボード規格【曲線】（KATO・ユニットラック線路）

線路配置図

- ボード寸法
W600 × D600 × H100 mm
- 使用レール
WR315/282-45PC × 1 本
WR414/381-22.5PCAR × 1 本
WR414/381-22.5PCAL × 1 本
WS62PC × 2 本



線路敷設に関する注意事項

- 複線間隔33mmを遵守すること。
- 両端（接続部分）の許容誤差は1mm以内。
- 複線レールを使用すること。
- 原則、ユニットラック線路を使用すること。
- レールのジョイントは正確に行い、確実に固定すること。
- 敷設後に必ず通電・走行チェックを行うこと。
- 線形の変更は可能だが、両端は指定の位置に指定の線路を使うこと。
- 大型車両が走行可能なクリアランスを確保すること。
- 右記の建築限界ゲージを切り抜いて活用してください。

電飾に関する注意

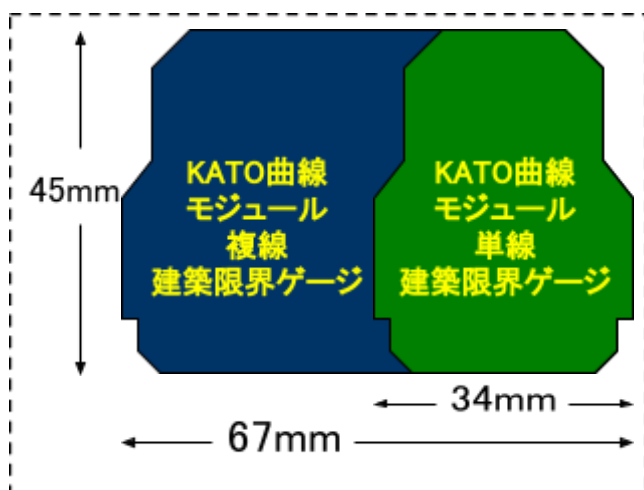
- 裸線、ショートのある配線は失格とする。
- 電気配線は必ずボード内に収めること。
- 線路からの給電はできません。
- 電池を使う場合は電池ボックスをボードの後ろに付けて、電池が誰でも取り出せる状態にすること。
- コンセントからの給電は、コードが収納できてコンセントを差し込むだけの状態にすること。
- 会期中帰る際は、必ず電池、コンセントは外して通電していない状態にすること。
- 配線は穴をあけてボード内に入れ、ボードが踏まない状態にしてください。
- 電気容量を事前に計算して照明などを付けてください。

その他の注意事項

- 作品全体の高さを500mm以下にすること。



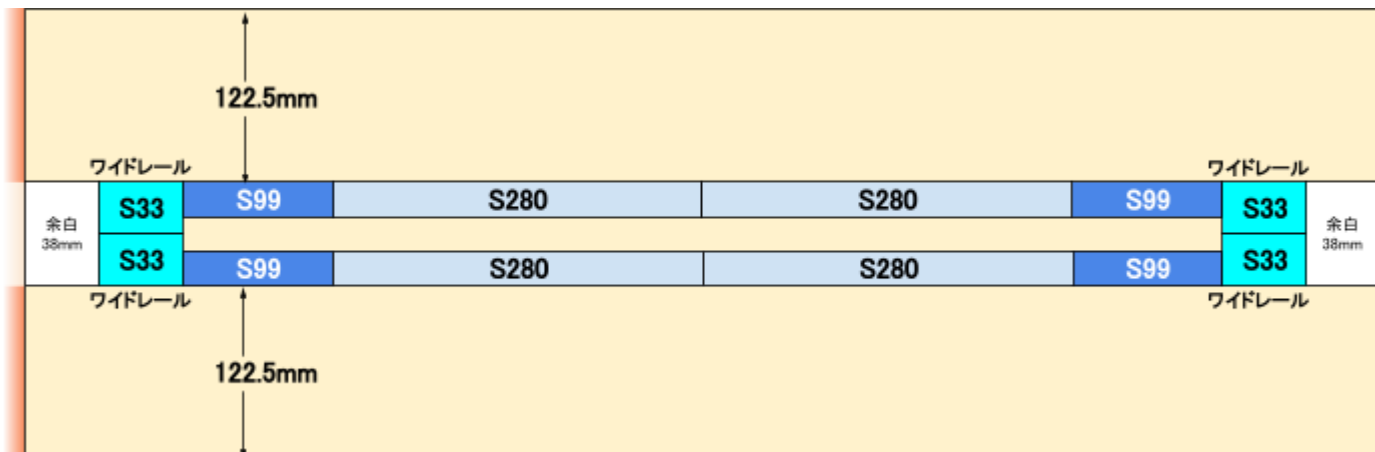
全国高等学校鉄道模型コンテスト実行委員会



全国高等学校鉄道模型コンテスト

モジュールボード規格【直線】（TOMIX・ファイントラック線路）

線路配置図



- ボード寸法
W900 × D300 × H100 mm
- 使用レール
S33(ワイドレール) × 2本
S99 × 2本
S280 × 2本

線路敷設に関する注意事項

- 複線間隔37mmを遵守すること。
- 両端(接続部分)の許容誤差は1mm以内。
- 複線レールを使用すること。
- 原則、ファイントラック線路を使用すること。
- レールのジョイントは正確に行い、確実に固定すること。
- 敷設後に必ず通電・走行チェックを行うこと。
- 線形の変更は可能だが、両端は指定の位置に指定の線路を使うこと。
- 大型車両が走行可能なクリアランスを確保すること。
- 右記の建築限界ゲージを切り抜いて活用してください。

電飾に関する注意

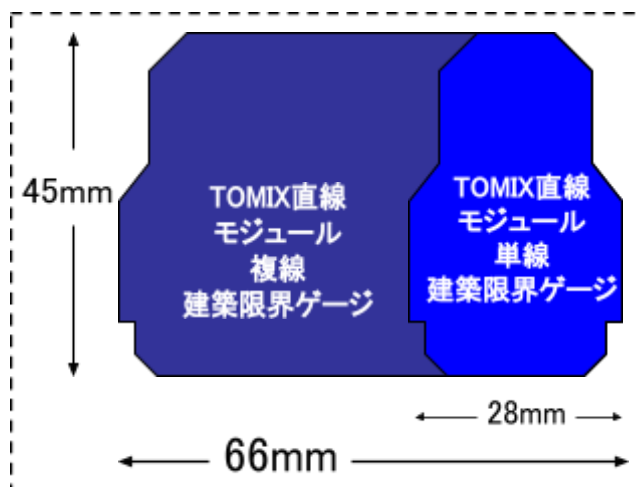
- 裸線、ショートのある配線は失格とする。
- 電気配線は必ずボード内に収めること。
- 線路からの給電はできません。
- 電池を使う場合は電池ボックスをボードの後ろに付けて、電池が誰でも取り出せる状態にすること。
- コンセントからの給電は、コードが収納できてコンセントを差し込むだけの状態にすること。
- 会期中帰る際は、必ず電池、コンセントは外して通電していない状態にすること。
- 配線は穴をあけてボード内に入れ、ボードが踏まない状態にしてください。
- 電気容量を事前に計算して照明などを付けてください。

その他の注意事項

- 作品全体の高さを500mm以下にすること。



全国高等学校鉄道模型コンテスト実行委員会

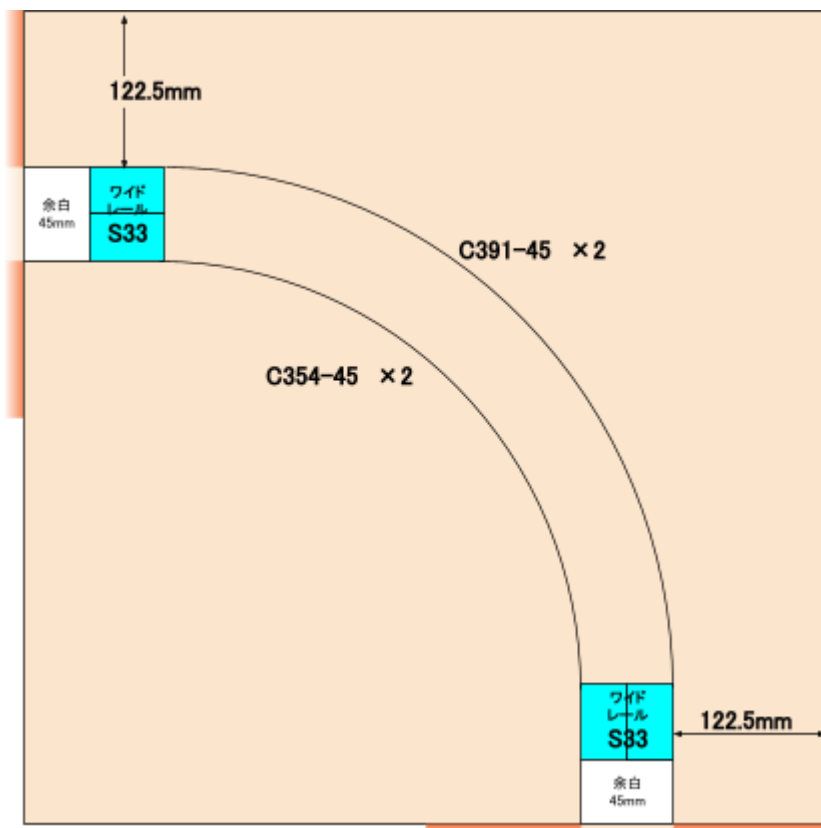


全国高等学校鉄道模型コンテスト

モジュールボード規格【曲線】（TOMIX・ファイントラック線路）

線路配置図

- ボード寸法
W600 × D600 × H100 mm
- 使用レール
S33（ワイドレール） × 2 本
C391-45 × 2 本
C354-45 × 2 本



線路敷設に関する注意事項

- 複線間隔37mmを遵守すること。
- 両端（接続部分）の許容誤差は1mm以内。
- 複線レールを使用すること。
- 原則、ファイントラック線路を使用すること。
- レールのジョイントは正確に行い、確実に固定すること。
- 敷設後に必ず通電・走行チェックを行うこと。
- 線形の変更は可能だが、両端は指定の位置に指定の線路を使うこと。
- 大型車両が走行可能なクリアランスを確保すること。
- 右記の建築限界ゲージを切り抜いて活用してください。

電飾に関する注意

- 裸線、ショートのある配線は失格とする。
- 電気配線は必ずボード内に収めること。
- 線路からの給電はできません。
- 電池を使う場合は電池ボックスをボードの後ろに付けて、電池が誰でも取り出せる状態にすること。
- コンセントからの給電は、コードが収納できてコンセントを差し込むだけの状態にすること。
- 会期中帰る際は、必ず電池、コンセントは外して通電していない状態にすること。
- 配線は穴をあけてボード内に入れ、ボードが踏まない状態にしてください。
- 電気容量を事前に計算して照明などを付けてください。

その他の注意事項

- 作品全体の高さを500mm以下にすること。

